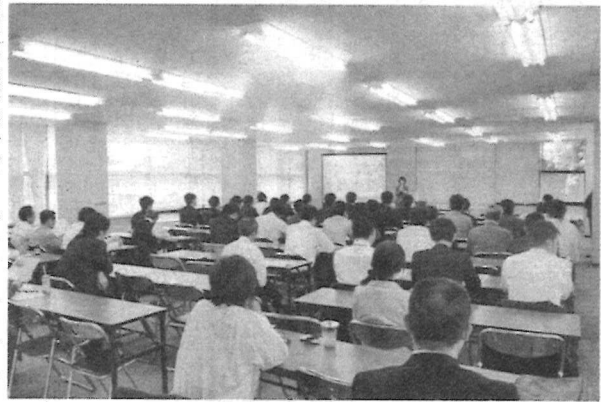


広島県新規従事者研修に44名 (一社)広島県配置医薬品連合会が協力



講義のあとには確認試験も

広島県健康福祉局業務課の広島県新規配置従事者研修会は、一般社団法人広島県配置医薬品連合会(小島恒治会長)の協力により、四月十八日午後一時半から広島市中区基町の広島県庁自治会館二〇一号室で開かれ、四十四名が受講した。研修会は、門那良三広島連合会副会長の司会で始められ、県業務課の岡田史恵リーダーが開会のあいさつを述べた。

講義に入り、業務課の城本隆昭職員が、薬事法とセ

ルフメディケーションについて一時間にわたって講義。

引き続き、連合会研修委員会の講義となり金田和宏委員長(薬剤師)、岩崎健二朗委員(登録販売者)が、漢方薬と主な医薬品の作用について九十分の講義を行った。

休憩の後、五十問の確認試験を実施、小池一正副委員長(薬剤師)が解答と解説を行った。試験結果は、概ね七〇%以上の正答率だった。

引き続き、配置販売業の歴史・倫理・モラルの講義を門那良三連合会副会長が行った。

小島恒治連合会長の閉会の辞のあと、受講者に県業務課から受講証が発行され、午後五時に終了した。